



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔知ることを学ぶ 為すことを学ぶ〕
～共に生きることを学ぶ 人として生きることを学ぶ～

私たち(社福)童心会の間人教育に対する考え方は「保育所は今、何をする所」を問い続け
「保育所は今、生きている喜びと学びあう心を育む所」と考え、見つめ続けながら生活しています。

(社福)童心会の道しるべ

Well-being (幸せになろうね! 幸せになろうよ!)

経営理念

自分を創る・人を創る
私は人として如何に生きるべきか

人間教育の理念

〔五感を刺激する 0歳からの人間教育〕

信条(credo)

やさしい保育園

保育者仲間に やさしい 子育て仲間に やさしい
子どもに やさしい 地域社会に やさしい

目標

〔思いやり(慈悲)と 生きる力(智慧)〕

方針

私を ぎゅっとして 私を 聞いて
私を 見つめて 私を 呼んで

心と体
を
育み
(生涯学習)
Starting smart
(始まりこそ賢く)

学び・生きる
を
楽しむ
(生涯教育)
Learning smart
(賢明なる 学び)



笑ったかす一番
遊んだかす一番

だっこされたかす一番
でかけたかす一番

やさしくされたかす一番
チャレンジしたかす一番

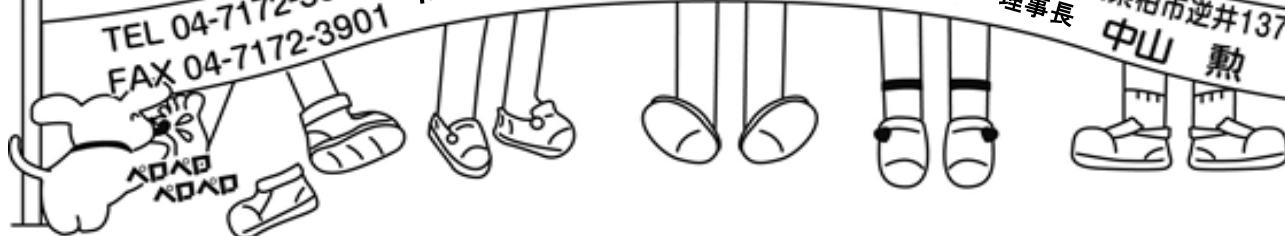


E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL http://doushinkai.jp ai.ed.jp

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



人間としての生きる心得

やればできる (mind set)	やり抜く力 (grit)
がんばること (体の力)	やる気 (意欲)
つづけること (学ぶ力)	げん気 (気力)
がまんすること (心の力)	ほん気 (意志)

人間教育(保育)の基盤

1. **学びのはじめ** = 五感の刺激 = 外・四季環境 = 非言語コミュニケーション = 感性を豊かに
= 子どもの権利 = 養育者の義務 = serve&return (応答関係)
= attachment (関わりを紡ぐ) = ドーパミン (やる気ホルモン)
2. **愛された育ち** = 身体的接触 = ふれあいと見守り = 非認知能力 = 子どもの権利
= 養育者の義務 = serve&return = attachment = オキシトシン (愛情ホルモン)
3. **だしめ言葉** = 情動的接触 = わたしをぎゅっとして = 子どもの権利 = 養育者の義務
= 思いやり = 非認知能力 = serve&return = attachment = セロトニン (幸せホルモン)

今月の法人だよりのテーマは、フランスのドロールレポート「学習:秘められた宝」から引用させて頂きました。これは1996年、21世紀教育国際委員会から教育と学者を提言する報告書をユネスコに提出されたものです。この訓えは、私たちと”意”を一つにしたものであります。

知ることを 学ぶ (Learning to know) 為すことを学ぶ (Learning to do) とは
ひとりでできる みんなとできる ひとりでできた みんなとできた であり
共に生きることを学ぶ (Learning to live together) 人間として生きることを学ぶ (Learning to be) とは
人のために 創る 助けあって 創る 人のために 生きる 助けあって 生きる
ことと同じ意味であると思ったからです。

この理念は、人間の生まれてからの発達成り立ちを示しており、
各時期における教育と学習のあり方を位置づけております。

これは私たち(社福)童心会の人創りの理念、

「生まれてから死を迎えるまでの一生を人間教育の場とし、24時間の生活時間を共有すること」なのであります。

即ち24時間の生活時間とは、

家庭教育、学校(保育)教育、社会教育が協働しあって未来人を育むことなのです。

「生後最初の数ヶ月、数年で神経細胞は爆発的に増えます。

赤ちゃんは賢く生まれてくるのではなく、賢く育てられていくのだ」ということが今の脳神経科学の定説なのです。

改めて私たちの学びのはじめは、**五感を刺激する0歳からの人間教育**であると考え、
見て倣い、観せて学び、聞いて考え、聴かせて習う、触れて知って、触って記憶する、
活動を重視しています。そして

1)知るをつづけるヒト(興味) 2)学びを続けるヒト(関心) 3)生きるをつづけるヒト(好奇心)

を育みながら、「ヒトを創る」に励んでいます。そして改めて

・ひとりで生きる ・みんなと生きる ・人のために 生きる ・助けあって 生きる

を訓えとしながら、学びを生涯学習・生涯教育として捉え

「人として如何に生きるべきか」を見つめながら、Well-beingを道しるべとし

「しあわせになろうね！しあわせになろうよ！」を合言葉に生活学習をくり返してきました。

これからの(社福)童心会のさらなるあゆみは、

改めて「生まれてから死を迎えるまでの一生を人として如何に生きるべきか」

と問い続けることなのだろうと思っています。

だから私たちの人として生きる願いと祈りは

生涯学習(long life learning)であり、生涯教育(long life education)なのです。

これからもこの様な人生を仲間たちと共に、子どもたちと共に、
子育て仲間の皆さまと共に新しい時代を生きていくつもりです。

皆さまのご協力をお願い申し上げます。

令和5年2月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲

※ 童心会だよりはホームページ上でご覧になれます。
理事長の部屋【<http://doushinkai.jp/message/>】